

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何を)	取組(何を)						
498	宇都宮ブランド戦略の推進	IV-13	都市ブランド戦略の推進	好循環P 戦略事業	本市の魅力や都市イメージの向上により、市民の誇りや市外からの憧れなど愛着を獲得する	市内外の人、企業等	本市の魅力を知ってもらう「認知」の取組と好きになってもらう「信頼」の取組の推進	計画 どおり	137,910	H20	先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:多様な媒体を活用したプロモーションの展開 ・テレビCMやインターネット広告、鉄道広告など多様な媒体を活用し、本市の住みよさについて訴求するための集中的なプロモーションを展開したことにより、市内外において「居住地としての宇都宮」をはじめとした本市ブランドの認知向上が図られ、移住相談件数の増加にもつながった。(移住相談件数 R3:166件⇒R4:448件 ※約2.7倍)</p> <p>・次年度については、さらなる本市認知度の向上やシビックプライドの醸成による、交流・関係人口の創出拡大、移住定住の促進に繋げていくため、令和4年度の移住定住プロモーション等で蓄積したノウハウなどを最大限に生かすとともに、LRTの開業をはじめ、国際的なスポーツイベントやMICE開催など本市への注目が高まる機会等を捉えながら、戦略的に本市ブランドプロモーションを展開していく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:移住定住の促進につながるプロモーション等の充実・強化】 ・昨年度築いた「居住地としての宇都宮」の認知・関心をさらに高め、特設ホームページへの来訪や移住相談、その先の本市への来訪や移住・定住などの実際の行動変容につなげるため、LRT開業などの本市に注目が集まる時期等を捉えながら、引き続き、特に東京圏の子育て世代や若者をターゲットとした集中的なプロモーションを展開していく。 ・また、本市の魅力を生感して体感することができる移住体験事業等の充実・強化を図り、交流人口や関係人口の創出・拡大、移住定住の促進につなげる。</p>	
499	東京圏から本市への移住・定住等の促進	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	本市へ移住・定住する人の増加	東京圏を中心とした、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> ・東京圏における移住定住プロモーションを移住した本市の魅力や情報の発信 ・本市での生活等について理解を深められる体験事業の実施 ・移住定住相談窓口「miyaacome」における相談受付 ・本市における各種支援制度の利用促進 	計画 どおり	62,756	H28	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:移住定住に関する情報発信や施策事業の充実 ・令和4年度は、県と連携したオンライン移住セミナーや県内全都市町による移住セミナー、ふるさと回帰支援センター主催の全国自治体と連携した移住セミナー等を通じた情報発信を実施するとともに、地方への移住を検討する方を対象に、お試し宿泊体験等を行ったり暮らし体験を実施した。 ・また、引き続き、子育て世代等をターゲットとしたデジタルマーケティングに取り組みるとともに、新たにJR宇都宮駅直結の複合施設「Utsunomiya Terrace」に「移住定住相談窓口miyaacome」を開設し、相談体制の充実を図るほか、市公式LINE「教えてみやりー」を活用した情報発信を行った。 ・移住定住相談窓口での相談延べ件数については、前年度と比較し、2.7倍(R3:166件 ⇒ R4:448件)に増加しており、テレワークの普及による通勤頻度の減少など、就業環境の変化による地方移住に対する機運が高まっていることから、着実な情報発信を行うとともに、移住の検討熟度に応じた効果的な促進策に取り組む必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:移住定住の更なる促進と関係人口の創出】 ・地方移住の機運を捉えながら、引き続き、効果的な情報発信を行うとともに、体験事業や相談体制の充実を図るなど、移住の検討熟度に応じた支援を強化し、移住定住の更なる促進を図る。 ・また、移住者や市内在住の若年層の転入転出理由などの把握に努めるとともに、特に進学・就職を契機とした本市からの転出防止や移住者の定住促進に向けて、東京圏への通勤・通学を支援するほか、本市との関係性強化を図る取組を検討するなど、取組の強化を図っていく。</p>	拡大
500	ジャパンカップサイクルードレースの開催	IV-13	都市の魅力の発信・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	UCI(国際自転車競技連合)が公認するアジア最高位の自転車ワンデイロードレースの開催を通じて、交流人口の増加による地域経済の活性化のほか、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上やシビックプライドの醸成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ジャパンカップサイクルードレース協会 ・安全安心な大会運営に向けたコース整備等 	計画 どおり	194,873	H4	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:3年ぶりの大会開催と大会を通じた地域経済の活性化 ・新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の中止を経て、感染症対策の徹底のもと、3年ぶりに大会を開催することができた。大会開催を通じて、クリテリウムに5万人、ロードレースに7万6千人、合計12万6千人が来場し、経済波及効果が26億3,400万円にのぼるなど、大きな賑わいを創出することができた。 ・UCIから日本で唯一認定されている世界シリーズ戦「UCIプロシリーズ」として初開催となったことにより、YouTubeでの大会映像視聴回数が約70万回を記録し、「自転車のまち」としての本市の魅力幅広く発信することができた。 ・令和5年度においては、節目の30回を迎えることから、市民をはじめ多くの方々から注目を集め、大会開催による効果を更に向上できるよう、様々な取組の展開により、記念大会を盛大に開催する必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:記念大会に相応しい盛り上がりへの創出と開催効果の更なる向上】 ・大会主管であるNPO法人ジャパンカップサイクルードレース協会及び大会実行委員会と連携しながら、世界トップカテゴリーの「ワールドチーム」を過去最多となる8チーム招聘し、これまで以上にハイレベルなレースにすることで、記念大会に相応しい盛り上がり創出することにより、地域経済の活性化をはじめ、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上や、国際大会の開催地としてのシビックプライドの醸成を図る。</p>	拡大	
501	「3x3のまち」推進による都市魅力向上事業	IV-13	都市の魅力の発信・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P	FIBA(国際バスケットボール連盟)が主催する3人制バスケットボール「3x3」の国際大会の開催を通じて、交流人口の増加による地域経済の活性化のほか、「3x3のまち」としての都市ブランド力の向上やシビックプライドの醸成を図る。また、多くの市民が3x3に触れられる機会を創出し、「3x3のまち宇都宮」を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・FIBA3x3ワールドツアー「うつのみや」の実行委員会 ・全市民 	計画 どおり	181,347	H28	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:3年ぶりの大会の誘致開催と大会を通じた地域経済の活性化 ・新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の中止を経て、感染症対策の徹底のもと、3年ぶりの大会をワールドツアーの開幕戦「オープナー」として誘致開催することができた。大会開催を通じて、4万8千人が来場し、経済効果が4億8,200万円にのぼるなど、街なか賑わいを創出することができた。また、YouTubeでの大会映像の視聴回数が約200万回を記録し、「3x3のまち」としての本市の魅力幅広く発信することができた。 ・令和5年4月の「うつのみやオープナー2023」の開催に向け、FIBAをはじめとする関係団体との調整のほか、幅広い業種の企業への協賛活動などの準備を進めることができた。 ・引き続き、大会開催に向けた準備を着実に進め、2回目となる「うつのみやオープナー」を盛大に開催し、開催効果の更なる向上を図るとともに、多くの市民が3x3に触れられる取組を充実し、「3x3のまち宇都宮」の更なる推進を図る必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:大会開催効果の更なる向上と「3x3のまち宇都宮」の推進】 ・大会主管である大会実行委員会と連携しながら、「うつのみやオープナー2023」をはじめ、新たな取組として、JR宇都宮駅東口地区の「宮みらいライトビル」「ライトキューブ宇都宮」において国内外の女子プロ選手によるエキシビションゲームや、関東地区の小学生代表チームによる「3x3 KANTO jr.CUP」などの付帯イベントを実施することにより、まち全体で3x3を盛り上げ、地域経済の活性化をはじめ、「3x3のまち」としての都市ブランド力の向上や、国際大会の開催地としてのシビックプライドの醸成を図る。 ・「3x3のまち宇都宮」の更なる推進に向けて、本市小学生代表チームのスイス派遣事業を新たに実施することから、関係機関と連携しながら、安全かつ円滑に実施し、「3x3」による国際交流を通じた本市小学生の人間力の向上を図る。</p>	拡大	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)	
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)							
502	宇都宮シクロクロスの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	UCI(国際自転車競技連合)が公認するシクロクロスレースの開催を通して、交流人口の拡大のほか、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上やサイクルスポーツの振興等を図る	宇都宮サイクルスポーツ推進委員会	「宇都宮シクロクロス」の開催に係る費用の一部を交付	計画 どおり	9,543	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:3年ぶりの大会開催と大会を通じた交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の中止を経て、感染症対策の徹底のもと、3年ぶりに大会を開催することができた。大会を通して、UCI公認レースとして国内外の有力選手によるレースを開催するとともに、一般レースについても様々なカテゴリーのレースを開催したことにより、国内のシクロクロス大会ではトップクラスとなる1万8千人の観戦者、510人のレース参加者を集め、賑わいを創出することができた。 大会開催による効果を更に向上できるよう、「宇都宮シクロクロス」を主催する宇都宮サイクルスポーツ委員会と連携しながら、令和5年度の大会を、日本一のシクロクロス選手を決める全日本選手権として開催するための誘致活動を行った。 全日本選手権を主催するJCF(日本自転車競技連盟)が、これまでの「宇都宮シクロクロス」開催実績を踏まえ、宇都宮市を開催地とする予定であることから、多くの市民を巻き込みながら、全日本選手権を盛大に開催し、「自転車のまち宇都宮」の更なる推進を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針:日本ナンバーワンを決定する大会開催を通じた地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> JCFや宇都宮サイクルスポーツ推進委員会と連携しながら、全日本選手権を成功に収めるとともに、市民をはじめ多くの方が様々なサイクルスポーツに親しめる付帯イベントの展開などにより、市民の認知度向上につなげ、さらに、地域経済の活性化や、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上、全日本選手権の開催地としてのシビックプライドの醸成を図る。 	拡大	
503	プロスポーツチーム支援事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ		本市をホームタウンとする「栃木SC」「宇都宮ブレックス」「宇都宮プリズェン」の3つのプロスポーツチームと、まちづくりのパートナーとして緊密に連携することにより、経済・地域の活性化や都市ブランド力の向上、シビックプライドの醸成を図る	・3つのプロスポーツチーム ・全市民	・地域の盛り上げの創出に向けた連携(ファン層拡大に向けた広報活動、公式戦や練習等活動環境の向上など) ・地域密着型チームの確立に向けた連携(市民がプロスポーツチームに触れられる機会の拡大など) ・プロスポーツチームと連携した誘客促進(アウェイツーリズムなど) ・プロスポーツチームの活動拠点の整備に対する連携・支援(プレックスアリーナなど)	計画 どおり	2,200	H18	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:ホームタウン自治体としての支援連携策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 市有施設へのポスター掲出や市広報紙への試合情報の掲載など、プロスポーツチームのファン層拡大に向けた広報活動を実施したほか、各チームのホームゲーム等を活用し、市内飲食店や観光地のほか、ジバンカップや3x3の情報を幅広く発信することができた。 宇都宮ブレックスが進める新アリーナ整備に係る定期的な意見交換を行い、アリーナ整備の進捗状況を確認した。 本市とプロスポーツチームが有するノウハウや情報、人材等を活用し、相互効果を発揮しながら、本市施策における幅広い分野において、緊密に連携・協力し、経済・地域の更なる活性化を図るため、各プロスポーツチームとの包括連携協定を締結することができた。 引き続き、プロスポーツチームがもたらす効果を高められるよう、プロスポーツチームとの連携を強化する必要がある。 <p>【②今後の取組方針:プロスポーツチームがもたらす効果の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロスポーツチームが本市にもたらす効果の拡大を図るため、更なるファン層拡大によるシビックプライドの醸成のほか、アウェイツーリズム等年間を通して賑わいの創出につながる事業を推進する。また、宇都宮ブレックスが進める新アリーナ整備の進捗に合わせて、支援策を検討するなど、プロスポーツチームの活動拠点の整備に対する連携・支援に取り組む。 		
504	大谷観光景観形成事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	地域団体が実施する観光景観形成を支援し、大谷地域の観光振興を推進する	大谷地区総合開発	大谷・多気地区の美観維持(奇岩の雑草等除去、樹木剪定など)に係る費用の一部を補助	計画 どおり	3,000	H15		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:地元団体の主導による観光景観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷・多気地区の良好な景観づくりに向けた地元団体による活動への支援を行い、観光景観の向上を図った。 観光入込客数の回復等に併い、大谷周辺地域ならではの資源の一つである景観の重要性が高まっていることから、活動主体である地域団体と連携し、景観の維持・向上に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷ならではの景観を活用した観光振興の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷ならではの景観をはじめとした地域資源を活用し、地元団体と連携のもと奇岩群などのスポットや周遊ルートなどの景観づくり等に取り組む、地域の観光振興を推進する。 		
505	大谷特性活用支援事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	大谷の地域資源を活用した事業開発や学術研究等を支援し、新たな魅力となる地域産業の創出を推進する	・市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP ・国内の高等教育機関又は当該高等教育機関に所属する教職員を代表とする研究グループ	大谷の地域資源を活用した事業開発や学術研究等の取組に係る経費の一部を補助	計画 どおり	2,850	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:新たな観光資源の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷石採取場跡地でのアートを取り入れた体験型観光コンテンツ創出への支援により、地域資源の価値向上や新たな目玉となる可能性のある観光資源の創出を図った。 大谷石の工学的特性や、大谷石採取場跡地での飲料の熟成効果などの研究への支援により、大谷石の風化や、飲料の長期間熟成の方法などについて検討が促進された。 地域資源の更なる有効活用を図りながら、地域の新たな魅力などに繋がる事業創出を図っていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:地域資源を活用した新事業創出の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで支援を行ってきたコンテンツが持続可能な事業として地域に定着するよう、大谷エリアの観光周遊などの取組とも連動しながら支援等を行う。 地域資源の更なる活用や価値の向上、並びに地域産業の振興等に向け、引き続き地域資源に関する学術研究に対する支援に取り組む、新事業創出の促進を図る。 		
506	大谷地域資源活用事業(冷熱エネルギーを活用した大谷地域の振興)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	冷熱エネルギーを活用した事業を推進し、大谷地域の振興を図る		冷熱エネルギー活用機器を導入し、継続して冷熱エネルギー活用事業を行う事業者	冷熱エネルギー活用機器の導入に係る経費の一部を補助	計画 どおり	296	H24	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:大谷夏いちご産地化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 立岩地区において大谷夏いちご栽培に取り組んでいる事業者の冷熱エネルギー活用機器の改良への支援により、大谷夏いちご栽培の効率化を促進した。 大谷夏いちご栽培への新規参入の誘導や栽培面積の拡大などにより、大谷夏いちご産地化を一層促進していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:冷熱エネルギーの利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ならではの資源である冷熱エネルギーについて、SDGsや脱炭素化の推進に効果が見込めることから、冷熱エネルギーを活用した事業や効果について事業者等へ積極的に周知を図り、利用促進を図る。 	
507	大谷石利用促進事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図る	市内で居宅・店舗等の新築・増改築を行う際、内外装の材料として大谷石を利用する建築主	市内で居宅・店舗等の内外装等の材料として、大谷石を利用した場合の経費の一部を補助	計画 以上	5,316	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:大谷石の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> JR宇都宮駅東口の複合施設のオープンなどを契機に、施設内のテナントでも多くの大谷石が使用されるなど、当初の計画以上の補助実績となり、本事業を通して大谷石への愛着醸成や石産業の活性化を図り、地場産材である大谷石の利用を促進した。 本市独自の「大谷石文化」を創り出してきた大谷石産業が持続的に発展できるよう、今後も石産業の振興を図っていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷石産業の持続的振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築・住宅関係事業者への本事業の活用の周知や、大谷石材協同組合との連携による「大谷石大使」を通じた大谷石の魅力の国内外へのPRなどにより、大谷石産業の持続的な振興を図る。 		

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
508	(公財)大谷地域整備公社運営費補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石採取場跡地等の安全対策を総合的に推進する	(公財)大谷地域整備公社	大谷地域の安全対策を行う大谷地域整備公社の運営費の一部を補助(栃木県2:宇都宮市1)	計画どおり	29,036	H2		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:観測システムの運用による迅速な対応等】 ・大谷地域整備公社の運営費の補助により、観測システムによる採取場跡地での振動発生等の常時監視・解析等を実施するとともに、振動観測時においても、県・市・公社等で連携を図り、地域住民への迅速な情報提供や、庁内関係部署への伝達など適切な措置を行った。 ・今後も大谷地域の市民生活の安定化に向け、関係機関の連携のもと、大谷石採取場跡地の安全対策に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:着実な安全対策の遂行】 ・大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、観測システム等の安全対策の実施主体である大谷地域整備公社の運営支援を行うとともに、大谷石材協同組合による埋め戻し事業などの取組についても、引き続き関係機関と連携を図りながら着実に推進する。</p>	
509	大谷観光周遊拠点施設建設 継続事業 ※拠点性向上事業を含む	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	観光周遊拠点施設の整備及び適切な管理等により、拠点性の向上を図る。	市民、本市来訪者	・観光周遊拠点施設の用地等の確保 ・観光周遊拠点施設の整備工事	計画どおり	128,022	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:整備工事等の実施】 ・大谷観光周遊拠点施設の令和5年11月の供用開始に向け、旧大谷公会堂やビジターセンター等の整備工事を実施するとともに、指定管理者の公募や施設の設置に係る条例制定を行った。 ・大谷地域の観光振興や地域活性化に資する施設としていくため、指定管理者等と連携し、施設の恒常的な利用促進に向けた企画・立案や、グリーンスローモビリティ等を活用した周遊促進等に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:着実な整備工事の推進や賑わい創出に向けた運営】 ・周辺施設も含めた拠点性向上に向け、拠点施設の整備工事を着実に推進し、賑わい創出に向けた指定管理者による運営等について整理するとともに、グリーンスローモビリティをはじめとした周遊手段による観光発着点としての機能向上や、大谷公園なども含めたウォーカブルな回遊空間の創出などに取り組む。</p>	拡大
510	観光地インフラ整備事業 ※大谷魅力発信事業を含む	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs	グリーンスローモビリティやワンデーパスポートの運用などにより、観光交通環境の向上を図る	市民、本市来訪者	・交通混雑の緩和や周遊性の向上などに向けグリーンスローモビリティの運行等を実施 ・地域内の周遊の魅力向上や滞在時間の延伸などに向けてワンデーパスポートの運用等を実施	計画どおり	28,479	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:周遊促進策を通した滞在時間などの拡大】 ・観光施設の入場料や飲食店のクーポン、並びにグリーンスローモビリティでの周遊をセットにしたワンデーパスポートの造成や、運行期間を拡充したモビリティの運用などを通し、地域内の滞在時間や消費額の拡大を図った ・グリーンスローモビリティの運行体制の最適化に向けて、委託事業者やツアーガイド、地域内ボランティア等と連携し、地域主体での運行が可能となるよう改善を行った。 ・目標とする120万人の観光入込客数を見据え、ろまんちっく村や森林公園など北西部が連携した誘客・周遊の取組や、大谷の交通環境向上に向けた適切な対策検討などに取り組む必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:大谷地域の観光交通の推進】 ・タクシー等を活用した北西部周遊促進の取組と連携を図るとともに、令和4年度末に組織した「大谷地域観光交通対策推進会議」での意見を踏まえながら、グリーンスローモビリティ運行の早期運行やクーポン対象施設の拡大、グリーンスローモビリティの運行と組み合わせた改善策の検討等を行い、交通環境の向上を図る。</p>	拡大

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何を)	取組(何を)						
511	観光宣伝事業 観光セールス強化事業	IV-14	戦略的観光の推進		各種媒体を活用しながら本市の魅力ある観光情報の発信を行うとともに、自治体や観光関係団体と連携しながら、時期を捉えた首都圏や新幹線沿線都市等でプロモーション等により情報発信を行うことで、本市への誘客促進を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とした、本市外に在住する方	・観光パンフレット(ふるふ首都宮・ミなるぶ等)の作成及び配布 ・餃子、ジャズ、カクテルマップの配布 ・HPやSNSを活用した情報発信 ・本市来訪の契機とするためのトップセールス、メディアの活用、キャンペーンやキャラバンの実施 ・各団体と連携した国内外での観光PRの実施や広域周遊ルートの作成 ・SNSフォローキャンペーンの実施	計画 どおり	5,649	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】効果的な観光宣伝事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の収束や渡航制限の緩和等による観光需要の回復を見据え、首都圏の駅や商業施設・市内外イベントでの観光パンフレットの配布や観光PR動画の放映、SNSフォローキャンペーンを実施し、若年層を中心に拡散力も活かした観光宣伝による誘客促進が図られた。 ・また、栃木県や県内県央エリアで構成される「県央地域分科会」に参画し、県央エリアにおける周遊促進に向けた事業の実施を行うとともに、東日本の新幹線沿線都市等で構成される「東日本連携・創生フォーラム」や「東日本連携広域周遊ルート策定研究会」といった広域的な枠組みにも参画し、東日本ウェブプロモーションや広報紙連携など、スケールメリットを活かした誘客宣伝活動を行った。特に東日本連携創生フォーラムにおけるYouTubeを活用した情報発信においては再生回数が約4万回を達成するなど、東日本エリアを中心とした多くの若年層の誘客促進につながった。 ・LRT開業や大谷観光周遊拠点施設の供用開始など、本市観光を取り巻く環境の変化を的確に捉えながら、観光振興プランで定める「首都圏の若者」に訴求する媒体により、本市の魅力発信していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針: デジタルデータの活用等による戦略的な観光PRの推進】</p> <p>デジタルサイネージや人流動態システム等の観光DXにより収集されるデジタルデータを活用し、来訪者等の属性等を捉えた情報発信やターゲットである「首都圏在住の若者」に訴求するよう、SNS等の様々な媒体を活用した観光プロモーションに取り組みとともに、栃木県や宇都宮観光コンベンション協会をはじめとした関係団体、事業者等と連携し、「移住定住」分野とも連動させながら、首都圏等での観光PRの推進にも取り組んでいく。</p>	拡大
512	栃木県アンテナショップ運営事業(負担金)	IV-14	戦略的観光の推進		首都圏において、本市観光情報を発信することで、本市への観光誘客を図る	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」	本市加工品の販売や観光情報の発信などアンテナショップに係る運営経費の一部を負担	計画 どおり	3,126	H24		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】アンテナショップの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動制限や訪日外国人の入国規制の緩和などを要因に、年間を通して、とちまるショップの来店者は増加している中、本市の特設ブースの設置や様々な物産展への出店など、積極的な観光PR活動を展開することで、市の知名度やブランドの向上による誘客促進を図った。 ・引き続きアンテナショップを活用して、首都圏における効果的な情報発信を行い、誘客促進を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針: 本市観光資源の更なるブランド力の向上】</p> <p>栃木県や指定管理者等と意見交換を行いながら、本市観光資源の魅力発信に取り組むとともに、更なる誘客促進を図るため、効果的なイベントスペースの活用方法についても検討し、観光客等に向け、積極的な情報発信を展開していく。</p>	
513	大谷地域周遊促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		二次交通を活用した市内周遊を促進することで、観光客の利便性を高める	本市来訪者	・少人数かつ目的地を選べる市内北西部周遊タクシー「宮のラク待タクシー(大谷資料館、ベルテラジェ大谷、カネホ内探石場、大谷寺、若山農場、宇都宮動物園、ろまんちっく村)の運行	計画 どおり	897	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】大谷周辺地域の周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北西部地域における2次交通について、ニーズが一定程度あることを確認しているところではあるが、民間事業者による自走化の更なる可能性を探るため、これまでのバスによる事業展開ではなく、コロナ禍でも少人数かつ柔軟な乗車等が可能である「タクシー」による実証実験を実施した。 ・改めて北西部周遊における2次交通の必要性とその手段としての「タクシー」の需要を一定確認することができたが、民間事業者による自走化に向けて、費用負担や事業展開の仕方等の改善が必要である。 <p>【②今後の取組方針: 民間事業者による自走化の検討やグリーンスローモビリティとの連携】</p> <p>引き続き、北西部地域における2次交通の必要性や自走化の実現性を検証するとともに、「北西部地域における2次交通」として、同じく大谷地域を周遊するグリーンスローモビリティとの連動性と相乗効果を高めると、効果的かつ実用的な事業について協議・検討していく。</p>	
514	外国人の誘客促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		外国人観光客の誘客促進に取り組むことで、市内経済の活性化を図る	外国人観光客	・海外に向けた観光プロモーション ・外国語版パンフレットの作成・配布・PR	計画 どおり	3,034	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】インバウンドプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、外国人旅行者に速やかに観光プロモーションが展開できるように構築したポータルサイトへのコンテンツ追加や来訪意欲を高めるためのFIT(海外個人旅行)向けの体験型コンテンツの発信に取り組んだ。 ・引き続き、アフターコロナにおける外国人の誘客促進事業に戦略的に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針: 更なるインバウンドの推進】</p> <p>より効果的に外国人観光客等の本市への誘客を促進するため、宇都宮観光コンベンション協会や国外向け旅行会社等と連携し、アジア圏などの観光情報を発信するほか、アフターコロナにおける現状の分析調査をしながら、効果的な誘客プロモーションを実施する。また、本市からの周遊先となる県内外の自治体との連携を強化し、広域連携を活用した観光プロモーションを展開することで、更なるインバウンドの拡大を図る。</p>	拡大
515	観光拠点創出事業	IV-14	戦略的観光の推進	戦略事業	本市の特色を活かした観光拠点を整備することで、メディア等への露出を促し、市外からの誘客促進を図る	餃子通り(宮島町通り)	・餃子をテーマとした様々な装飾 ・マスメディア等を活用した情報発信 ・餃子や大谷石など本市の観光資源をモチーフにしたグッズの配布	計画 どおり	322	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】官民一体となった観光拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・餃子通りにおいて、新たな写真映えスポットとなる「GYOZAモニュメント」を設置し、新たな魅力の創出につなげるとともに、SNSを活用したキャンペーンを併せて展開することで若年層における情報の拡散による更なる誘客を図った。 ・県外での観光PR活動時に餃子通りをはじめとした観光拠点のPRを行いながら、餃子・カクテル・ジャズ・大谷石などのグッズを配布するなど、餃子をきっかけとした本市全体の観光資源の魅力発信を行うことで、餃子以外の観光資源も絡めた市内複数のスポットの周遊促進につながった。 ・引き続き、関係事業者等と連携しながら、観光客のニーズやターゲット層を捉えながら、新たな観光スポット等の磨き上げに取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針: 観光拠点の更なる磨き上げ】</p> <p>情報発信力が高く旅行にもアクティブである若年層をターゲットにし、より一層観光客が餃子通りを楽しみ、満喫できるようなコンテンツの検討や、餃子通りを拠点とした北西部等の観光施設のPRなど、民間事業者等と連携しながら、餃子をきっかけとした誘客促進につながるよう観光資源の更なる磨き上げや周遊促進に取り組んでいく。</p>	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
516	フェスタin大谷事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		「フェスタin大谷」の開催を支援することで、本市の観光拠点である大谷地域観光を推進する	フェスタin大谷実行委員会	フェスタin大谷の開催に係る費用の一部を交付	計画 どおり	3,000	H13		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷の魅力発信】 ・大谷地域を舞台とした小説をテーマに話題性のあるイベントを開催することで、本市の重要な観光地である大谷地域の魅力発信を行った。 ・引き続き、県内外の観光客に対し、大谷をはじめとした本市の魅力を広げ、誘客や周遊促進につながるよう、実行委員会を支援していく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:大谷の観光振興の推進】 引き続き、大谷地域への更なる誘客促進を図るため、県内外の観光客へ、「石の里・大谷」を広くPRするとともに、大谷を拠点とした北西部地域の魅力発信にもつながるよう、「フェスタin大谷実行委員会」を支援していく。</p>	
517	ふるさと宮まつり事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「ふるさと宮まつり」の開催を支援することで、郷土文化の醸成や本市のイメージアップにつなげる	ふるさと宮まつり開催委員会	宮まつりの開催に係る費用の一部を補助	感染症の影響による 変更	19,487	S51		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 ・新型コロナウイルス感染症対策を行った上での通常開催を予定していたが、栃木県より高齢者等の混雑した場所への外出自粛の協力要請を含む「BA.5対策強化宣言」の発令が明らかになったことから、開催直前に急遽中止となった。 ・今後は、感染対策を徹底した上での通常開催に向けた準備を進めながら、直前の感染拡大による開催内容の変更についても柔軟に対応できるように、関係事業者と調整をしていく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 ふるさと宮まつりは、北関東最大規模の祭りとして市内外からの集客力が高く、本市の知名度向上及びイメージアップを図る上で効果的なイベントであることから、感染症対策を徹底し、アフターコロナの時代に対応しながら、引き続き「ふるさと宮まつり開催委員会」を支援していく。</p>	
518	うつのみや花火大会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「うつのみや花火大会」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	特定非営利活動団体うつのみや百年花火	「うつのみや花火大会」の開催に係る費用の一部を補助	感染症の影響による 変更	3,000	H19		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 ・令和4年度は、感染症の感染拡大防止の観点から完全チケット制の実施や酒類販売の禁止等を行ったうえで「うつのみや花火大会」の開催となったが、多くの観光客が本市を訪れ本市の知名度向上などにつながる事ができた。 ・引き続き、関係団体と連携しながら、市民をはじめ多くの観光客に愛される花火大会となるよう支援していく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 今後も、全国に誇れる花火大会であるうつのみや花火大会の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。</p>	
519	森林公園魅力向上事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	森林公園の魅力向上に向けた再整備を行うことにより、自然に親しめる場として、より多くの市民に利用されることにも、自然を活かした体験型観光地として観光客を誘客し、引いては、「大谷地域」「ろまんちっく村」上の周遊性の向上につなげ、大谷周辺地域全体を活性化を図る	・全市民 ・本市観光客	森林公園の魅力向上に向けた再整備の推進	計画 どおり	10,394	H29		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):公民連携による再整備手法の決定】 ・民間事業者への意向調査を踏まえ、公民連携による魅力向上に向けた再整備手法を決定することができた。 ・令和6年4月から、新たな事業者による管理運営や再整備が行えるよう、民間事業者の募集・選定に向けて、募集要項の作成などの準備を進める必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:森林公園再整備の推進】 ・アドバイザー業務受託者と連携しながら、民間事業者(指定管理者)の募集・選定を円滑に進めるとともに、選定した事業者と再整備内容やスケジュール等について協議を重ねるなど、令和6年4月からの森林公園の再整備推進に取り組む。</p>	
520	宇都宮観光推進委員会事業(交付金等)	IV-14	戦略的観光の推進		デスティネーションキャンペーンをきっかけに発足した「宇都宮市DC推進委員会」での取組を継承し、観光事業者等との連携をしながら観光事業に取り組む。官民一体となって本市観光を推進し、地域経済の活性化に寄与する	宇都宮観光推進委員会	事業実施に係る経費を補助	計画 どおり	10,000	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民連携による観光振興】 ・観光資源の更なる磨き上げとして、市内の専門学校生と連携しながら観光スポットである餃子通り新たな魅力・フォトスポットとして、GYOZAモニュメントを作成し、ターゲットである若年層に向けた餃子をきっかけとした来訪意欲の醸成につながった。 ・また、周遊促進等による滞在時間の延長を図るため、夜の滞在時間の延長を目的とした中心市街地でのホッピングイベントの開催やホッピングメニューの提供等を実施し、ナイトタイムコンテンツの充実に取り組むとともに、多くの観光客が訪れる行楽シーズンにおいて、SNSを活用したスタンプラリーやハッシュタグキャンペーンを実施した。 ・引き続き、官民連携による新たな魅力の創出・磨き上げ等を行い、観光振興策に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:市内の動きと連動した観光振興】 LRT開業や大谷観光周遊拠点施設の供用開始など多くの人々が来訪する機会も的確に捉えながら、官民が一体となって来訪者の属性等も踏まえ、観光資源の発掘や磨き上げ等の誘客促進と周遊促進に取り組んでいく。</p>	
521	観光コンベンション協会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		観光振興の中核的役割を担う宇都宮観光コンベンション協会の支援を行うことで、本市への観光誘客による市内経済の活性化を図る	宇都宮観光コンベンション協会	観光推進事業やコンベンション協会の誘致、フィルムコミッションなどの事業運営に要する経費の一部を補助	計画 どおり	111,192	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民一体となった観光振興と協会の更なる機能強化】 ・令和4年4月より宇都宮観光コンベンション協会の法人化とMICE振興課の新設等の組織体制強化を図ったことにより、これまで以上に観光プロモーションやフィルムコミッション事業の強化のほか、MICE誘致強化やコンベンション開催支援の充実に取り組んだことにより、更なる観光誘客やMICE開催地としての魅力の訴求につながった。 ・今後、当協会はより観光客に近い場所に事務所を移転することから、本市観光情報発信の拠点としての機能の充実を図るとともに、観光事業者と連携した観光振興やMICEを通じた観光振興に積極的に取り組むことができるよう、引き続き支援していく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:協会と連携した柔軟かつ機動的な観光事業の展開】 当協会が本市の観光における中核的な役割として観光事業者と柔軟かつ機動的に連携し観光客に訴求できる独自性のある事業やMICEを通じた観光振興策を迅速に展開できるように、協会を適宜支援することで、観光による地域経済の活性化やMICE開催後のアフターコンベンションの充実などMICEと連携した観光振興に取り組んでいく。</p>	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
522	MICE推進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	宇都宮駅東口交流 拠点施設をはじめと した本市全域にMICE を誘致し、地域経 済の活性化を図る。	・主催者をはじめと するMICE関係団 体・事業者など ・MICEに参加する 市民・事業者	・主催者に対する訪問営 業の実施 ・本市の魅力を活用した 体験プログラム等の造 成 ・官民連携による推進体 制の構築	計画 どおり	132,531	R1		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：ハード・ソフト両面からのMICE推進環境等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者への訪問営業や商談会への出席。主催者を対象としたファムツアーの実施など、多彩な手法による誘致活動の実施により、開催地としての認知度を向上させ、交流拠点施設をはじめ、市内各施設を活用し、医療系学会や各種全国大会など、魅力的なMICEを誘致することができた。 ・市内企業等と連携し、本市の独自の地域資源を活かしたテクニカルビジットや各種体験プランの作成などにより、MICE開催に係る本市の優位性を高めることができた。 ・市内の大学や産業団体等で構成される「宇都宮MICEネットワーク」を設立するなど、オール宇都宮でのMICE推進に向けた体制を構築することができた。 ・更なるMICE誘致に向けては、主催者ニーズに対応した施策の実施のほか、「宇都宮MICEネットワーク」や県内自治体等との連携など、戦略的なMICE推進に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針：官民・広域連携による戦略的なMICEの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者への訪問営業や交流拠点施設の利用者アンケートを通じ、開催地決定の有効となる条件など、主催者等が求める具体的なニーズを把握し、コンテンツの作成や支援メニューの充実など、ニーズに的確に対応するとともに、本市ならではの地域資源や特徴等を活かしながら、実効性のある誘致活動に取り組む。 ・国際会議や全国会議等の大規模MICEの獲得に向け、著名な観光地を有する日光や那須など近隣自治体との連携を強化するとともに、「宇都宮MICEネットワーク」における構成員の人的ネットワークを活かした更なるMICEの誘致推進に取り組む。 	改善
523	宇都宮さつき&花フェア 開催事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		市花のPR・花き・花 木の普及定着と生産 振興	宇都宮さつき&花 フェア実行委員会	宇都宮さつき&花 フェアの開催に係る費用の 一部を交付	計画 どおり	2,520	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：知名度向上と誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、フェアの内容を変更し、規模を縮小(さつきの展示や販売、開会式のみ)して開催した。 ・引き続き関係団体と連携しながら、より多くの人々に楽しんでもらえるような開催内容の充実につながる支援に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針：実行委員会への継続的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係団体と連携を図りながら、市の花「さつき」の理解促進と本市への更なる誘客促進を図るため、「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」を支援していく。 	
524	農業・農村ふれあい交流 事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		農業・農村地域の活 性化と交流人口の孤 大	農業・農村ふれあ い交流事業を実施 する市内の地域農 業者等で構成され る団体	都市と農村の交流に係 る事業費用の一部を補 助	感 染 症 の 影 響 に よ る 変 更	0	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：都市と農村の交流促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による事業機会減少により、補助実績はなかった。 ・しかしながら、農とのふれあい交流事業は、地域の活性化や都市と農村の多様な交流を推進する上で有効な機会であり、引き続き本市の農産物資源を活用した交流事業を実施する地域団体等を支援する必要があることから、補助制度の利用につながるよう周知の強化に努めていく。 <p>【②今後の取組方針：団体等への継続的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、市外からの観光客や市民を含む都市住民に対し、農業や収穫などの体験をしてもらうことで、都市と農村の交流や農村地域の活性化が図られることから、引き続き、当事業の周知に努めるとともに、農作業体験等のふれあい交流事業を実施する団体を支援していく。 	
525	農林公園整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施 設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力 向上に伴う整備等	計 画 ど お り	9,999	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：観光施設の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持修繕工事を実施するなど、安定的な管理運営に取り組むとともに、指定管理者による魅力向上に資する施設整備を実施した。 ・今後とも、指定管理者と連携しながら、老朽化対応などの管理運営を適切に行うほか、更なる誘客促進に向けた魅力向上の取組についても検討していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針：適切な管理運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定管理者と協議を行いながら、安定した施設運営に努めるほか、指定管理者と連携を強化し、アフターコロナにおける来園者の増加につながるような魅力向上にも取り組んでいく。 	
526	地域交流館整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施 設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計 画 ど お り	28,096	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：観光施設の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持修繕工事を実践的に実施し、適切な管理運営に努めたところである。 ・今後とも、指定管理者と連携しながら、地域の交流拠点として新たな利用促進策を行うなど、更なる誘客促進を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針：適切な管理運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の適切な管理運営による安定運営に努めるとともに、地域の交流拠点として、各イベントの開催や地元農家と連携した事業等を実施するなど、アフターコロナにおける施設の魅力向上に取り組んでいく。 	
527	おもてなし推進委員会運 営事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		市民や事業者のおも てなし能力の向上さ せ、本市を訪れた観 光客に、「来てよかった 」、「また訪れたい 」と感じていただき、本 市への再訪につなげ る	おもてなし推進委 員会	観光ボランティアの育成 やおもてなしの向上に 要する経費の一部を負 担	計 画 ど お り	400	H20	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：官民が連携したおもてなし体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業所など全市民のおもてなし能力を向上させるため、官民協同で組織された「おもてなし推進委員会」において、多くの人々が来訪するいちご一会とちぎ団体開催を見据えたおもてなしセミナーの実施やおもてなし出前講座などのおもてなし運動を推進することにより、市民や事業者の「おもてなし力」の向上が図られた。 ・引き続き、本市を訪れて良かった観光客が満足してもらえるよう、観光客のおもてなしの強化に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針：更なるおもてなしの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本市での観光の満足度を高め再訪につながるよう、更なる「おもてなし力」の向上と充実を図るため、「おもてなし推進委員会」を活用し、講座やセミナーの開催などに取り組む、市域一丸となって「おもてなし日本一」のまちづくりを推進していく。 	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)	
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)							
528	観光コンベンション協会事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		本市の玄関口でもあるJR宇都宮駅観光案内所において、来訪者へ丁寧でわかりやすい観光案内を行うことで、おもてなしの向上を目指す	宇都宮観光コンベンション協会	観光案内所などの維持管理及び運営事業に要する経費を負担	計画どおり	8,817	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光客への案内充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客が快適に市内を周遊できるよう、JR宇都宮駅観光案内所において、各種パンフレットの配布や本市観光情報の提供といったおもてなし推進に取り組むなど、観光需要の回復と併せて本市の魅力発信にも努め、観光誘客に取り組んだ。 今後も、MICEの開催をはじめ、LRT開業や大谷観光周遊拠点施設の供用開始などにより、多くの来訪者が予想されることから、引き続き本市の観光を満喫できるようおもてなしの推進に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:案内機能の更なる充実】</p> <p>今後とも、観光客が快適に観光できるよう、観光案内所における情報発信機能の向上を図るなど、協会や市内観光事業者と連携を図りながら、観光客が快適に本市を観光してもらえるよう更なるおもてなしの向上に取り組んでいく。</p>		
529	観光振興促進事業(補助金)	IV-14	おもてなしの充実		事業者が行う、観光施設の改築や備品の購入等を支援することで、本市の更なる観光振興を図る		<ul style="list-style-type: none"> 本市に体験型観光施設を設置しようとする事業者、工場、伝統工芸品店その他商店等 大谷エリア等での新たな飲食店出店希望者 	整備に要する経費の一部を補助	計画どおり	4,000	H18		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光施設・事業所出店への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷エリアへの新たな出店事業者等を支援することにより、大谷地域への立地誘導が促進され、体験型観光や観光客へのおもてなしの向上が図られた。 引き続き、更なる本市の観光振興を図るため、当該補助金を活用した事業者への支援を継続していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:補助金の活用促進】</p> <p>引き続き、ものづくり等の体験施設や飲食・土産品販売の施設を整備する事業者への支援を行い、体験型観光の更なる推進と飲食店舗等の出店をはじめとしたおもてなしの充実に取り組んでいく。</p>	
530	外国人観光客受入体制の整備	IV-14	おもてなしの充実		外国人観光客が快適に市内旅行をしてもらえるよう、市内の受入環境を整備する。	市・民間団体等	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客向け公衆無線LANの整備、運用維持管理 観光施設等における案内看板やホームページ、メニューなどの多言語化に係る費用の一部を交付 	計画どおり	5,105	H29		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):外国人観光客の受入環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公衆無線LANの機器更新を含めた維持管理や外国人観光客受入体制整備事業補助金の制度の周知、外国語による本市の魅力的な観光資源の情報を盛り込んだ外国人向けポータルサイトを運営することで、民間の観光施設における多言語対応の促進や、本市を訪れる外国人観光客の受入体制の整備に取り組んだ。 引き続き、補助金の活用につながるよう制度の周知を実施するなど、外国人の受入環境の整備促進に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:補助制度の利用促進】</p> <p>今後は、引き続き、公衆無線LANの継続運用及び機器更新、パンフレットやポータルサイト、等を活用した多言語による情報発信や観光案内の充実を図るとともに、アフターコロナにおけるインバウンド需要の回復に伴い、受入環境の整備を検討している民間事業者に対し、積極的に補助制度の周知を行うことで、制度の利用促進に取り組んでいく。</p>		

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
531	市民芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	宇都宮市民芸術祭実行委員会	宇都宮市民芸術祭の開催	計画どおり	7,053	S55		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 感染対策を講じて全部門開催、より多くの市民への参加の呼びかけ ・「ホール」部門については、出演者の健康観察や来場者の消毒・検温などの感染対策を講じ、ほとんどの部会で3年ぶりの有観客公演を行い、「合唱」では参加団体・来場者ともに史上最高数を更新するなど、好評のうちに無事実施することができた。一部、積極的な広報を控えたり、関係者のみの来場とする部門もあった。また、「ギャラリー」や「文芸」部門については令和3年度同様通常開催したものの、若年層をはじめより多くの市民の参加や出品の呼びかけが課題として挙げられた。 ・11月に第2回実行委員会を開催し、令和5年度の開催に向けて、部会ごとに感染症対策を十分に講じて準備していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針: 若年層をはじめとする、より多くの市民の参加促進】 ・各部門において創意工夫を図り、若い世代をはじめ、より多くの市民の参加促進に努めるほか、運営側にも若い人材の取り込みを図っていく。 ・各部門が感染症の影響により減少した参加者増に向けた方策を検討し実施していく。</p>	改善
532	ジュニア芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	小中高校生の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	うつのみやジュニア芸術祭の開催	計画どおり	4,752	H11		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 感染症対策を講じながら全部門実施 ・「学校音楽祭」「学校演劇祭」は関係者のみの観覧として開催したが、そのほかの部門については感染症対策を講じながら、例年同様の開催をすることができた。しかし、出品数や参加者数、観覧者は、コロナ禍以前の水準に戻っていないことから、引き続き、より広く市民への認知度向上を図るとともに、小・中学校と連携し、出品数や参加者数の増加に努める必要がある。 ・3月上旬に書面による実行委員会を開催し、令和5年度についても感染症対策を十分に講じ、開催に向け検討していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針: 参加者や出品数、参加団体の増加など、事業の活性化】 ・より広く市民に子どもたちの活動や、成長を一層感じてもらえる機会を創出するため、ジュニア芸術祭の認知度向上に向けた取組の検討、また受賞作品の情報発信などに努めていく。</p>	改善
533	文化協会事業補助金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民主体による芸術文化の普及・振興を図る。	宇都宮市文化協会	ふれあい文化教室・文化探訪・文化協会スケッチ会の実施	計画どおり	1,307	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 様々な文化の体験機会の確保 ・文化協会まつりやこどもマジック教室、スケッチ・写真会、歌舞伎観劇会などを開催し、より広く市民が文化芸術に触れる機会の創出に取り組んだ。 ・文化協会会員が講師となり小中学校において実施する「ふれあい文化教室」については、箏・尺八や民謡、三味線、茶道などの伝統文化をはじめ、ジャズや百人一首等の本市ならではの文化に触れる機会を提供しており、例年、市内小・中学校から多くの派遣要請を受け、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成のほか、郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与している。 ・自主財源の強化に向けて、協会の認知度の向上などに継続して取り組む必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針: 市民主体による文化活動の促進への支援】 ・宇都宮市文化協会は各ジャンルで活躍している市内芸術家を統括した団体であることから、引き続き、市民主体の文化活動への支援を行うとともに、文化協会の自主財源の強化に向けて、令和元年度に協会が新設した企業・団体等向け講座「ふれあい文化教養講座」の周知・活用を支援していく。</p>	
534	宇都宮エスぺール文化振興事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	次代を担う芸術家の育成・支援を図り、本市の文化振興に寄与する。	今後の活躍が期待できる本市ゆかりの優れた芸術家	・隔年で宇都宮エスぺール賞の選考、受賞者に育成金(200万円)を贈呈 ・エスぺール賞の選考を行わない年は、プロボト事業(受賞者の発表機会提供事業・受賞者学校派遣事業)を実施など	計画どおり	2,877	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 本市の文化振興に寄与する次代を担う芸術家の育成・支援 ・地元若手芸術家を育成・支援する取組は全国的にも稀有であり、令和4年度は、ホール部門の選考年として、7月から募集要項を配布し10月に募集を締め切り、6名からの応募があった。第1次、第2次選考委員会を立ち上げ、書類審査や面接、音源・映像資料などを基に厳正な審査を行い、選考委員会の推薦に基づき市が受賞者を決定し授与した。今後も受賞者のより一層の活躍を支援し、市民がより質の高い文化芸術に触れる機会を創出し、本市文化振興に向けて取り組む。</p> <p>【②今後の取組方針: エスぺール賞受賞者による市民が質の高い文化芸術に触れる機会の創出】 ・令和5年度は、プロボト事業の実施の年次であることから、コンサートやギャラリー一層、学校への派遣事業など、受賞者の発表機会の創出に努める。また、令和2年度の受賞者(ギャラリー)藤原彩人氏による成果発表となる個展が美術館で開催されることから、より多くの市民に本市ゆかりの芸術家の活動に触れていただく機会となるよう、周知啓発に努める。</p>	
535	文化創造財団運営補助金	IV-15	文化活動の充実		市民文化の創造を図り本市の文化振興に寄与するため設立した文化創造財団の円滑な組織運営を支援する。	(公財)うつのみや文化創造財団	財団の組織運営に要する経費の一部補助	計画どおり	58,309	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 指定管理2施設の適切な管理運営の実施、施設管理における感染症対策の実施 ・宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の指定管理者として、感染防止対策を十分に執り、施設の適切な管理運営に努めた。 ・夏以降、急激な物価高騰の影響を受け、管理する2施設の光熱水費等が不足する事態となり、財団として次期繰越金などを充当して対応した。 ・引き続き、物価高騰の影響が続いていることから、財団として適正な財務運営に努める。</p> <p>【②今後の取組方針: 本市の文化振興の中核組織としての機能強化及び適正な施設管理】 ・財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むほか、美術館と文化会館の連携によるアートやデザインと音楽を融合した事業や、市民全体に波及する事業を効果的に実施していきよう指導・支援を行っていく。 ・施設管理においては感染防止対策を徹底し、安心して文化芸術に触れることができるようにするとともに、国における物価高騰対策などを注視しながら、効率的な施設の管理運営に努める。</p>	
536	文化会館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		文化会館の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団	指定管理者を運営主体とした文化会館の管理運営と文化振興事業の実施	計画どおり	265,923	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 各種ホール事業の開催、施設利用の安全確保 ・夏及び冬の感染拡大期においても、感染防止対策を講じた上で開館し、利用率、利用料金はコロナ禍前の水準に近づけることができた。 ・大・小ホールは、すべての事業はすべて実施することができ、サーマルカメラや消毒機の設置など、感染防止対策を講じ、市民が文化芸術活動に触れる機会の創出に取り組んだ。 ・大・小ホールは、すべての事業はすべて実施することができ、サーマルカメラや消毒機の設置など、感染防止対策を講じ、市民が文化芸術活動に触れる機会の創出に取り組んだ。 【②今後の取組方針: 施設利用の安全確保と文化団体等との連携及び情報発信力の強化】 ・感染症防止対策を講じながら、会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、良質かつ魅力的な文化芸術事業を企画するとともに、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に取り組んでいく。</p>	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
537	文化会館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供する。	宇都宮市文化会館利用者	文化会館の施設・設備の計画保全や緊急対応	計画どおり	38,627	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持と第2期大規模改修工事に向けた劣化診断調査の実施。進め方に関する検討 ・開館から40年以上が経過していることから、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。また、第2期大規模改修工事の実施に向けて、改修箇所などを再整理するとともに、施設躯体の寿命を確認するための構造体劣化診断調査を実施したことから、この結果を踏まえた進め方を検討する。</p> <p>【②今後の取組方針】:第2期大規模改修工事に向けた進め方や手法の再整理、計画的な施設維持・修繕 ・令和3年度に実施した第2期改修工事改修手法等調査や、令和4年度に実施した構造体劣化診断調査の結果を踏まえ、本市における施設機能の役割分担の考え方や進め方、手法等を再整理し、今後の改修・整備の方向性について庁内合意に向けた検討を進める。また、経年劣化等に伴う施設・設備の故障や不具合が散見されることから、計画修繕を適切に行っていく。</p>	
538	美術館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		美術館及び文化の森の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団	指定管理者を運営主体とした美術館の管理運営と企画展などの事業の実施	計画どおり	387,878	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:魅力ある企画展の開催と施設利用の安全確保 ・令和3年8月から実施していた空調等設備の改修工事の休館期間を無事終了、9月にリニューアルオープンし、開館25周年事業となる全館コレクション展「これらの時間についての夢」を開催した。 ・また、2月からは、第2弾となる開館25周年記念事業となる企画展「二つの教会をめぐる石の物語」と「陽成二」展を開催し、これまでの学芸員の調査研究の成果による魅力的な展示が好評を得た。 ・施設利用にあたっては、入館時の検温や消毒液の設置など、感染症対策を十分に行いながら開館し、文化芸術の振興を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】:魅力ある企画展の継続開催と学芸員の専門スキルの向上 ・令和4年度をもって、2名の学芸員が定年退職を迎え、新規採用の学芸員を迎えたことから、本市の特色となるデザイン分野の専門知識や幅広いスキルの継承に努める。 ・引き続き、6,900点を超えるコレクションや、本市の資源を活かした魅力的な企画展の開催に向けて取り組んでいく。 ・また、本市の新たな魅力となる看板作品の購入に向けて検討を進めていく。</p>	拡大
539	美術館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供するとともに、美術品の適切な保護を図る。	宇都宮美術館	美術館の施設・設備の計画的保全や緊急対応	計画どおり	699,727	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な保全整備のための改修工事の実施 ・開館から25年が経過し、平成29年度に実施した「施設劣化診断及び改修手法等調査」を踏まえ、R3.8月から休館を伴う大規模改修に着手し、逐次、建築部門や工事業者との連携を密にしながら、円滑に工事を実施した。また、レストランやミュージアムショップなどのリニューアルオープンに向けた設備や内装の更新なども併せて実施した。</p> <p>・【②今後の取組方針】:計画的な保全整備のための美術館施設設備の改修・修繕と文化の森の適切な管理の実施 14ヶ月にわたる休館を経て、設備の大規模改修を終えたところであるが、引き続き、施設設備の適切な維持・保全管理に取り組む。また、展示室のスポットライト等、LED化が進んでいない照明設備もあることから、美術館と連携しながら更新作業を進めていく。また、文化の森公園については、森の樹木が巨木化し、管理が難しくなっていることから、森の保全の観点や、高額な美術品を収蔵する美術館の保全の観点から、適切な管理に向けて必要な調査業務等を実施していく。</p>	
540	美術館訪問鑑賞会事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	子どもたちが質の高い芸術に親しむ機会を提供する。	市内小中学生	市バス等を活用して美術館を訪問し、展覧会の鑑賞等を行う。	計画どおり	0	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:子どもたちが優れたアートに触れる機会の提供 ・休館後の短い会期の実施となったが、リニューアルした美術館に来館いただき、参加した3校の児童生徒や教職員の満足度も高く、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成に寄与した。</p> <p>【②今後の取組方針】:参加しやすく魅力的な事業内容の検討 ・多くの子どもたちに優れたアートに触れる機会を提供するため、感染症対策を十分に行い、参加校の利便性向上に努めていく。また、翌年度以降の募集に向けて、参加しやすく魅力的な事業になるよう内容を検討するなど、新規の学校の参加促進を図っていく。</p>	
541	「よみがえれ！宇都宮城」市民の会活動補助事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民が主体となった宇都宮城の歴史の伝承及び郷土愛の醸成	「よみがえれ！宇都宮城」市民の会	宇都宮城の歴史の伝承や郷土愛の醸成を目的とする城址まつりや歴史講演会等の活動費の助成・支援	感染症の影響による変更	4,992	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:宇都宮城址公園を活用した事業の実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった「城址まつり」の代替事業として、幅広い世代が宇都宮城址公園に訪れるきっかけとなるよう、他の公園の情報も掲載した宇都宮城址公園のパンフレットを作成・配布するとともに、会員向けに家族入りマスクを作成・配付した。 ・4年ぶりに宇都宮城址公園を会場に「桜まつり」を開催し、多くの方が宇都宮城の歴史に触れる機会を創出した。(来場者15,000人) ・市民の会会員増加に向け、事業内容の充実や市民の会の効果的な周知啓発を行う必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針】:市民の会主体の運営 宇都宮城の歴史をより多くの人に伝承するため、「城址まつり」や「桜まつり」などのイベントを市民の会が主体的に充実させ、幅広い世代がより多く参加できるよう支援していく。 ・安定的に活動を継続するため、作成したパンフレット等の効果的な活用など、あらゆる機会を捉えて市民の会を積極的にPRし、会員の増加を図る。</p>	
542	指定文化財管理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の維持管理に要する経費の一部を補助	計画どおり	97	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存 指定文化財の維持管理に必要な費用を支援することにより、国指定文化財として価値を保持し保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】:貴重な文化財の保存・継承の推進 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何を)	取組(何を)						
543	指定文化財等保存修理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存や活用を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の修理に要する経費の一部を補助	計画どおり	4,488	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存 経年経過による劣化や樹勢が衰えた文化財については、所有者とその対応について話し合う場を設け、計画的に保存修理を行った。</p> <p>【②今後の取組方針】:貴重な文化財の保存・継承の推進 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	
544	指定文化財保存活動費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な指定文化財等の保存や活用、継承を図る。	市内の指定文化財等の保存・愛護活動団体	指定文化財の維持管理活動や伝承活動等に要する経費の一部を補助	感染症の影響による変更	1,348	S32		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:市民主体による文化財の保存・継承の推進 ・文化財保存・愛護団体における文化財周辺の清掃・除草作業、獅子舞の練習や祭りへの参加などの活動に要する費用の一部を補助することで、文化財の保存や継承の取組を支援した。 ・文化財保存・愛護団体は、高齢化や会員数の減少により活動が停滞傾向にある。</p> <p>【②今後の取組方針】:市民による文化財保存活用の推進 新型コロナウイルス感染症が収束に向かっていることから、地域での活動が活発になることが想定されるため、後継者不足の団体には地域ぐるみでの活動の促進を助言するなど、適切な対応・支援を行っていく。</p>	
545	文化財ボランティア支援事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な文化財の周知啓発を図る。	宇都宮市文化財ボランティア協議会 市民、来訪者	文化財ボランティア養成講座の開催、城址公園等における案内活動等の実施	感染症の影響による変更	0	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:新型コロナウイルス感染症の影響による団体活動の縮小 新型コロナウイルス感染症の影響により、宇都宮城址公園等で実施していたボランティアガイド活動を縮小した。4/1~6/30は土日のみ実施。7/26~9/30は全面休止した。</p> <p>【②今後の取組方針】:団体活動の再開に向けた支援 観光客の増加に対応した団体活動の進め方などについて、宇都宮市文化財ボランティア協議会と意見交換を重ね、ボランティアガイド活動などがスムーズに運営できるよう支援していく。</p>	
546	文化財周知啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化や文化財に対する理解促進や認知度向上を図る。	市民、来訪者	文化財めぐり・普及啓発資料の作成等の実施	計画どおり	209	H3		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚 ・文化財めぐりについては、定員を20人にし、マスク着用、検温などの感染予防策を講じて実施し、テーマに応じた文化財に触れる機会を創出に努めた。 ・6年生の社会科授業で活用できる宇都宮空襲パンフレットを作成・配布し、子どもたちや保護者に戦争の悲惨さや平和の大切さを理解してもらったことができた。 ・メールマガジンやInstagramでの情報発信を毎週行うことで、市内の様々な文化財や文化財展示施設でのイベントなどについて効果的な情報発信をすることができた。</p> <p>【②今後の取組方針】:多様なツールを使った普及啓発の推進 宇都宮の歴史や伝統文化の理解促進や認知度向上のため、文化財めぐりや「歴史と文化財ホームページ」、「宇都宮学」などの多様なツールを用いた普及啓発に引き続き取り組んでいく。</p>	
547	宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市民協働により本市に伝わる伝統文化・芸能・食等の保存と継承を図る。	宇都宮伝統文化連絡協議会	伝統文化フェスティバル・宮つ子伝統文化体験教室・伝統文化講座・ふるさと料理講座等の実施	感染症の影響による変更	3,471	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:伝統文化に触れる機会の確保 ・伝統文化連絡協議会会員が講師となり小中学校において獅子舞等の伝統芸能や黄ぶな絵付け等の伝統工芸、地域に伝わる民謡語り等の体験機会を提供している「宮つ子伝統文化体験教室」は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じることで、計画通り実施することができた。 ・一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、伝統文化フェスティバル(12月)を規模を縮小して開催したほか、その他の事業も中止もしくは回数を減らしての実施となった。</p> <p>【②今後の取組方針】:市民主体による伝統文化の継承活動への支援 引き継ぎ「伝統文化フェスティバル」や各種講座、「宮つ子伝統文化体験教室」を実施することで、伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域における継承活動の環境づくりや人材育成への支援を図っていく。</p>	
548	文化遺産を活用した地域活性化事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化基本構想に基づき、本市の歴史文化資源に対する理解促進と認知度向上を図る。 地域ぐるみでの歴史文化資源の保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市歴史文化資源活用推進協議会 指定・未指定の歴史文化資源 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の歴史文化を紐解く「エイト・ストーリー」の普及啓発の実施 「宇都宮市民遺産制度」の普及啓発及び認定団体への活動、補助金活用等の指導・助言 	計画どおり	6,724	H28	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進 ・令和2年度に制作した「宇都宮城映像コンテンツ」の運用のほか、「宇都宮の歴史と文化財」ホームページに「宇都宮学」のページを追加し、市内小中学生や市民、来訪者に情報発信を行った。 ・「宇都宮市民遺産制度」については、令和4年度は5団体を認定するなど、文化遺産を活用した地域の活性化を着実に推進した。</p> <p>【②今後の取組方針】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進 ・地域の文化財の保存・活用を計画的、継続的に取り組むため、歴史文化基本構想のアクションプランとなる「宇都宮市文化財保存活用地域計画」を2か年かけて策定する。 ・「歴史と文化財ホームページ」やSNSなどの視覚的な情報ツールを用いてエイト・ストーリーの更なる普及啓発を進めるとともに、宇都宮城映像コンテンツを活用して宇都宮城の情報発信を推進する。 ・また、「宇都宮市民遺産制度」について、引き続き制度の周知を図り、市民や地域団体の関心を高めるとともに既認定団体への支援に努めていく。</p>	
549	日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	<ul style="list-style-type: none"> 「日本遺産 大谷石文化」の理解促進と認知度向上、保存活用を図る。 大谷地域の重要な文化的景観選定に向けた取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市大谷石文化推進協議会 人々の生活や生業などにより作られた大谷地域の文化的景観 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究・情報発信・普及啓発・人材育成に係る事業の実施 大谷地域の重要な文化的景観の重要な構成要素の+H27同意 	計画どおり	9,587	H30	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:宇都宮市大谷石文化推進協議会を核とした魅力発信事業の推進 ・官民連携で設立した宇都宮市大谷石文化推進協議会を核として、大谷石文化の保存や活用に向け、情報発信・普及啓発・人材育成に係る様々な事業を実施した。いちご一会とぎ団体にあわせ、利用者増加が見込まれる東武鉄道西川田駅舎での日本遺産PRポスターの掲示や、大谷石文化サポーター制度を立ち上げるなど、新たな普及啓発の取り組みを実施した。 ・大谷地域の石切りや岩岩の景観を国の重要な文化的景観に選定してもらったため、大多数の重要な構成要素の所有者からの同意を得ることができた。</p> <p>【②今後の取組方針】:大谷石文化に係る市民理解の促進と認知度向上 様々な機会や媒体を通じて大谷石文化の価値や魅力の情報発信や普及啓発の充実を図り、地域の活性化につなげるほか、官民連携により大谷石文化を保存活用する取組を推進するとともに、協議会が持続的に活動できる組織体制づくりに取り組んでいく。また、大谷地域の重要な文化的景観選定に向け、同意を得られていない所有者に対して丁寧な説明を行う。</p>	拡大

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
550	文化財調査事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・文化財保護法に基づき、開発行為に伴う埋蔵文化財の適切な保護を図る。 ・市民協働により指定文化財の適切な保護を図る。	・市内の埋蔵文化財包蔵地 ・市内の指定文化財等	・埋蔵文化財包蔵地における開発行為に伴う発掘調査等の実施 ・宇都宮市文化財調査員活動の実施	計画どおり	2,050	S42		【①昨年度の評価(成果や課題)】埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保護 文化財保護法に基づき、適切に遺跡の保護を図った。また、宇都宮市文化財調査員と連携し指定文化財の現況を調査し問題のある指定文化財の把握に努めた。 【②今後の取組方針】民間事業者の法令遵守意識の高揚による埋蔵文化財の適切な保護の推進 文化財保護法に基づく届出を行わず埋蔵文化財包蔵地において開発行為等を行う事業が年数件発生していることから、ホームページでの情報発信や庁内他課の開発許可窓口へ周知文書を備え付けるなど、民間事業者に対する法令遵守や文化財の適切な保護に対する意識高揚や指導の徹底を図っていく。 ・また、引き続き民間事業者による大規模開発に係る大規模な確認調査が見込まれることから、埋蔵文化財の適切な調査ができるよう職員のスキルアップに努める。	改善
551	とびやま歴史体験館活用・啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化に対する理解促進を図る。	市民、来訪者	企画展・講演会の開催	計画どおり	182	H17		【①昨年度の評価(成果や課題)】本市の歴史文化に関する普及啓発の推進 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、様々なテーマによる企画展や講演会を開催し、本市の歴史文化に対する理解促進に努めた。 【②今後の取組方針】とびやま歴史体験館の効果的な活用に向けた検討 ・LRTの開通を見据え、とびやま歴史体験館のより効果的な活用や誘客促進について検討を進めていく。	
552	飛山城跡整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	飛山城跡の適切な保存と活用を図る。	飛山城跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	3,740	S52		【①昨年度の評価(成果や課題)】飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 ・LRT「飛山城跡」停留所から飛山城跡公園までを案内する誘導板を4基設置した。また、土砂災害警戒区域に指定されている史跡公園南西入口付近に、注意喚起看板を1基設置した。 ・飛山城跡公園の大手木橋について、耐久性を図る診断業務を実施した。 【②今後の取組方針】飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 ・LRT開業に向け、劣化した設備の修繕等、来場者の受け入れ体制を整備する。	改善

NO.	事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R4 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
						対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
553	うつのみや遺跡の広場改修事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		うつのみや遺跡の広場の適切な保存と活用を図る。	根古谷台遺跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	2,386	S62		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討 ・令和4年5月の大雨により茅葺屋根の一部が崩落していた復元建物(J-5)について、屋根の部分修繕を実施した。</p> <p>【②今後の取組方針】:うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討 ・平成3年3月の開園から30年以上が経過しており、復元建物を含め施設の老朽化が進んでいる。 ・引き続き、施設の老朽化に適切に対応するとともに、VR等の活用も含め今後の施設の整備・活用のあり方について検討を進めていく。</p>	
554	上神主・茂原官衙遺跡保存整備事務費	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		上三川町と連携し上神主・茂原官衙遺跡の適切な保存と活用を図る。	上神主・茂原官衙遺跡(国指定史跡)	普及啓発事業の実施、保存のあり方の検討	感染症の影響による変更	1,815	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 ・ウォーキングの開催や市民ホールでの展示などの普及啓発に取り組んだ。また、保存整備委員会を開催し、今後の整備について検討した。</p> <p>【②今後の取組方針】:普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 ・上三川町と連携しながら保存整備委員会において、報告書(瓦編)の内容や、重要文化財への指定に向けた今後の活用方策や整備のあり方等について引き続き検討を行うほか、史跡周辺のウォーキングや「宇都宮学」を活用するなどの普及啓発事業を実施し、遺跡の認知度の向上と保存に向けた機運醸成を図っていく。</p>	
555	史跡等整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市内の文化財や史跡、天然記念物等の適切な保存と活用を図る。	市内の文化財や史跡、天然記念物等	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	6,655	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: ・重要文化財である旧篠原家住宅主屋の耐震基礎診断および耐震補強の実施が必要であるため業務委託を行った。 ・文化財表示板の現状を調査し、既存の表示板の修繕や、破損している表示板の新設等の業務委託を行った。</p> <p>【②今後の取組方針】:貴重な史跡等の保存・継承の推進 ・旧篠原家住宅については、耐震診断結果に基づき耐震補強工事の実施設計を行い、建物の保全を図っていく。 ・表示板の維持・管理については、文化財調査員とも連携を図りながら、定期的に現状を把握し、適切に対応していく。</p>	
556	うつのみや百人一首市民大会交付金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市ゆかりの百人一首に触れ親しむ機会の創出を通じて、郷土愛の醸成と本市のブランド力の向上に寄与する。	うつのみや百人一首市民大会実行委員会	うつのみや百人一首市民大会の開催、連生記念全国競技かるた宇都宮大会の開催、百人一首普及啓発事業の実施	感染症の影響による変更	2,408	H8	独自性 トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:感染症防止対策を講じて、市民大会及び全国競技かるた宇都宮大会を実施 ・令和2、3年度は万全の感染対策が困難として、市民大会及び連生記念全国競技かるた宇都宮大会を中止したが、令和4年度は、適切な感染防止対策が可能と判断し、参加者の制限や検温・消毒などの対策を講じて、両大会を無事に開催した。 ・3月に書面による実行委員会を開催し、令和5年度は、感染症対策を十分に講じつつ、参加者数を制限しない通常開催に向けて検討していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針】:感染防止対策を講じながら、コロナ禍前の運用による市民大会の実施と普及啓発活動の充実 ・まずは、安全・安心な市民大会をコロナ禍前の規模で開催するとともに、全国から参加者が集まる全国競技かるた宇都宮大会が第10回大会となることから、本市と百人一首の関わりを広く周知する「百人一首のまち宇都宮」の普及啓発活動の充実を図る。</p>	
557	ジャズのまち普及事業補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	ジャズを核とした幅広い音楽の振興を通じて、郷土愛の醸成と地域の活性化に寄与する。	うつのみやジャズのまち委員会	ふれあい文化教室・渡辺貞夫ライブ・まちかどピアノ・ジャズセミナー・学校普及ジャズ等の実施	計画どおり	885	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:子供から観客まで、市内外に広くジャズのまちを周知するための各種事業の開催 ・令和2年度より中止してきたほとんどの事業で、適切な感染防止対策を講じながら事業が実施できた。主な事業として、子どもたちが本市ゆかりのジャズに親しむ機会を増やすため、学校に専門講師を派遣する「ふれあい文化教室」の実施、また、一般公募で参加者を募った「ふれあいジャズセミナー」については、全8回を開催し、今年には観客での終了コンサートが実施できた。また、設置場所に課題があり、なかなか実現ができなかった「まちかどピアノ」について、駅東口の商業施設「ウソミヤテラス」の協力を得て、12月末より実施できるようになり、多くの市民から継続希望の声が届いている。令和3年度から20周年事業としてジャズ史の編纂に着手して取材・紙面編纂に取り組んでいる。</p> <p>【②今後の取組方針】:市内外に向けた「ジャズのまち宇都宮」推進のための各種事業の実施 ・観光交流課との連携を強化し、音楽のあふれるまちの更なる活性化に向け、各種事業の魅力の向上・発信に努める。 ・「まちかどピアノ」の継続設置と他楽器とのセッションやミニコンサート等の新たな展開に向けて、施設管理者をはじめとする関係者と十分な連携を図る。 ・20周年記念事業であるジャズ史の刊行に向けて取り組む。</p>	
558	妖精資料活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	妖精ミュージアムを核とした妖精資料の普及啓発を通して、中心市街地の活性化に寄与する。	市民、来館者	企画展の開催、ギャラリートーク・読み聞かせ等の実施	計画どおり	1,831	H19	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:感染防止対策を講じた安全な施設管理と特色を生かした展示事業の実施 ・入館者の検温や消毒液の設置、ギャラリートークを事前予約制とするなど、感染予防対策を十分に行いながら開館した。 ・また、企画展「妖精の国の向こう側-眠れるコレクション展」においては、当館のこれまで紹介されてこなかった収蔵作品をその理由を添えて展示し、新たな発見を促すなど、施設の新たな魅力発信に繋がる展示を行った。</p> <p>【②今後の取組方針】:親子をターゲットとした企画等の充実及び施設特性を生かしたPRの強化 ・引き続き、感染防止対策をとりながら円滑な施設運営を行うとともに、令和3年度にリニューアルオープンしたゆうあい広場との連携を図り、ファミリー向けの企画など魅力的な事業の企画に取り組むほか、全国的にも稀有な妖精ミュージアムとして、SNSを活用してイベント情報を随時発信するなど、市内外への効果的なPRを行う。</p>	